

「IoT時代の電気通信番号に関する研究会」開催要綱

1 目的

M2M (Machine to Machine) 等専用の電気通信番号として020番号を創設することとした「携帯電話番号の有効利用に向けた電気通信番号に係る制度の在り方」答申（平成27年12月17日情報通信審議会答申）から約3年が経過し、制度整備を経て、携帯電話事業者において020番号の利用が開始されている。

また、第5世代移動通信システム（5G）によるサービスが2019年に開始される予定であり、あらゆる「モノ」がインターネットに接続されるIoT（Internet of Things）時代を本格的に迎えることとなる。

こうした状況を踏まえ、電気通信番号について、M2M等による更なる需要の増大や、多数の事業者による様々なサービス形態の進展に対応するための方策等の検討を行うため、「IoT時代の電気通信番号に関する研究会」を開催する。

2 名称

本研究会は、「IoT時代の電気通信番号に関する研究会」と称する。

3 検討事項

- (1) 020番号の番号容量の確保に関する事項
- (2) 020番号以外の電気通信番号（IMSI等）の取扱いに関する事項
- (3) その他

4 構成及び運営

- (1) 本研究会の構成員は、別添のとおりとする。
- (2) 本研究会には、座長及び座長代理を置く。
- (3) 座長は、本研究会を招集し、運営する。また、座長代理は、座長を補佐し、座長不在のときは、座長に代わって本研究会を招集し、運営する。
- (4) 座長は、必要があるときは、構成員以外の関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- (5) その他、本研究会の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

5 議事・資料等の扱い

- (1) 本研究会は、原則として公開とする。ただし、座長が必要と認める場合については、非公開とする。
- (2) 本研究会で使用した資料及び議事概要は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害するおそれがある場合又は座長が必要と認める場合については、非公開とする。

6 その他

本研究会の庶務は、総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課番号企画室がこれを行うものとする。

「IoT時代の電気通信番号に関する研究会」構成員

(敬称略・五十音順)

- (座長) 相田 仁 東京大学大学院 工学系研究科 教授
- 飯塚 留美 一般財団法人マルチメディア振興センター 電波利用
調査部 研究主幹
- 金子 めぐみ 情報・システム研究機構国立情報学研究所 アーキテク
チャ科学研究系 准教授
- (座長代理) 酒井 善則 東京工業大学 名誉教授／津田塾大学 客員教授
- 藤井 威生 電気通信大学 先端ワイヤレス・コミュニケーション
研究センター 教授
- 矢入 郁子 上智大学 理工学部 情報理工学科 准教授